

10月27日から11月9日までは読書週間です

2024年の読書週間標語は 「この一行に逢いにきた」



本の世界は、多様で思いもよらない世界が広がっています。
まるで自分のために書かれたかと思うような一行に逢いにいきませんか？

◎本を読むことは「知ること」「学ぶこと」

本を読むことで、いろいろな知識を得ることができます。暮らしに関すること、仕事に関すること、学校で勉強していることなど、さまざまな学びが本の中にはあります。読書による体験でさまざまな世界のありようを知ることができるのは、ものごとを見つめ直したり、深く考えたりするきっかけになります。

子どもにとっても読書は大切です。絵本は子どもの世界を広げ、想像力を育みます。本を読む力や読書の習慣も身につきます。

読書はいつからでも始められます。ちょっと本でも読もうかな、と思ったときに、気軽に始めてみてください。

◎本や資料を借りる

図書館には、本や雑誌、CD・DVDもたくさんあります。実際に手に取ってみて、読みたい本や気になる資料があれば借りていただけます。

図書館にある本は予約もできます。館内の検索用パソコンや図書館のホームページからも予約ができます。また、図書館にない本はリクエストもできます。ぜひご利用ください。

◎本を探す・何かを調べる

図書館には、みなさんが疑問に思ったこと、知りたいことを調べるお手伝いをする「レファレンスサービス」があります。

滋賀や日野に関する本を集めた郷土資料のコーナーや、新聞の記事やさまざまな農業関係の情報を調べるデータベース、国立国会図書館の資料を閲覧できるサービスなどがあります。こうしたサービスも活用し、みなさんがさまざまな資料に出会うお手伝いをしたり、いろいろな質問にお答えしたりしています。

読みたい本がない、どの本を見ればいいのかわからない、何かを調べたいというときは、職員に気軽におたずねください。

◎本との出会いを

図書館では、「おはなし会」や「えいが会」「ピアノコンサート」などいろいろな行事をしています。館内では、月ごとにいろいろなテーマの本を集めた展示や、新しく入った本・新聞書評に掲載された本のコーナーを作るなど、みなさんと本が会うきっかけづくりをしています。

図書館でたくさんのお本と出会い、お気に入りの本を見つけてください。

◎図書館と居場所

図書館は誰もが気軽に利用できる施設です。ちょっとどこかで過ごしたい、ゆっくり本を読んで楽しみたいなど、特に何かの目的がなくても過ごせる居場所です。本を仲立ちに仲間と学び合ったり、話したり、自由に過ごせるほっとする場として図書館をご利用ください。

◎図書館の情報発信

図書館の行事などの情報は、図書館のホームページやとしょかんだより、広報ひの、日野め〜る、フェイスブックなどでお知らせしています。どうぞご覧ください。



ホームページ



フェイスブック

◆問い合わせ先 日野町立図書館 ☎ 0748-53-1644



みんなのとしょかん



本の紹介

『デジタル時代の「集中力」の科学 ATTENTION SPAN』

グロリア・マーク / 著 日本経済新聞出版

デジタル機器が人間の生活に与える影響について、心理学・情報科学のエキスパートが解き明かす驚くべき「集中力」の科学。絶え間ないメールやチャット、SNS、Web会議など、さまざまな刺激に満ちたデジタル環境下で、集中力を統制し、自分に合ったスタイルで「幸福度」も「生産性」も高める方法とは？現代の集中力の常識を覆す画期的な書。



図書館からのお知らせ

○10・11月は空調工事のため、図書館の視聴覚室・会議室・授乳室・展示コーナーが利用できません（図書の貸出はできます）。

図書館の2期棟（視聴覚室・会議室・授乳室・展示コーナーなど）の空調設備の更新工事を実施します。それに伴い、10・11月の託児サービス、えいが会は中止とさせていただきます。



行事予定

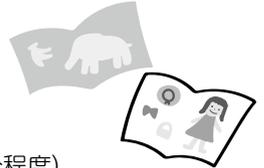
※行事・サービスは中止する場合があります。

「おはなし会」

10月12日(土)、26日(土)
11:00～(15分程度)

「おひぎでだっこのおはなし会」

10月19日(土) 11:00～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。



10月							11月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

■…休館日 □…おはなし会 ▣…おひぎでだっこのおはなし会

◆問い合わせ先 日野町立図書館
☎0748-53-1644

「還暦を過ぎて家庭も仕事もひと段落ついた今、自分のルーツを調べたくなったのよ」ご先祖が日野出身で、現在は東京にお住まいのご婦人に、こう言われたことがあります。役場から取り寄せた明治時代の戸籍を頼りに、自分のルーツを辿る旅に出られました。現地を訪ね、人と出会い、「そうだったのか」と多くの気づきを得られました。

役場では明治以降の戸籍を保管しています。いわゆる「明治19年式戸籍」というもので、住所表記に地名が採用されたほか、出生、死亡、婚姻、養子縁組の記載もあります。所定の手続きをしていただければ取得することができます。明治の戸籍に掲載されている方の多くは、江戸の終わりの出生なので、そのころまでさかのぼること

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

ルーツを探る旅

ができます。

私もさっそく戸籍を取り寄せ、家の過去帳と照らし合わせて見ると、多くの発見がありました。おじさんおばさんが法事に来ていた理由がよくわかりました。祖父には実は多くの姉がおり、幼少期に亡くなっていたことがわかりました。5代前の戸主は江戸末期に、栃木県内の日野商人の蔵元で働き、若くして現地で亡くなっていったこともわかりました。先祖を6代さかのぼるだけで100人以上の方に行きつくと言われています。私自身、今まで知り得なかったご先祖に想いを馳せ、魂の安堵感というものを感じた気がします。

さて、私のファミリーヒストリーには続きがあります。5代前の戸主は栃木県の蔵元で働き、現地で亡くなったわけですが、実はその現地の栃木県にお墓があること、そしてその蔵元は今もなお営業していることが判明しました。いつかそのお墓をお参りし、蔵元へも訪問したいと思います。そして、その蔵元が造る「桜川」という、創業当時の銘酒を日野に持ち帰り、仏壇にお供えしたいと考えています。